

第 45 卷 PDF 読本



京王八王子駅



高尾山



京王電鉄

2025年1月7日 歩く鉄道作家 榎原 勉

<目次>

はじめに

第1章 京王線（新宿～京王八王子：営業キロ 37.9km）・・・5

京王動物園線（高幡不動～多摩動物公園；2.0km）

京王競馬場線（東府中～府中競馬正門前；0.9km）

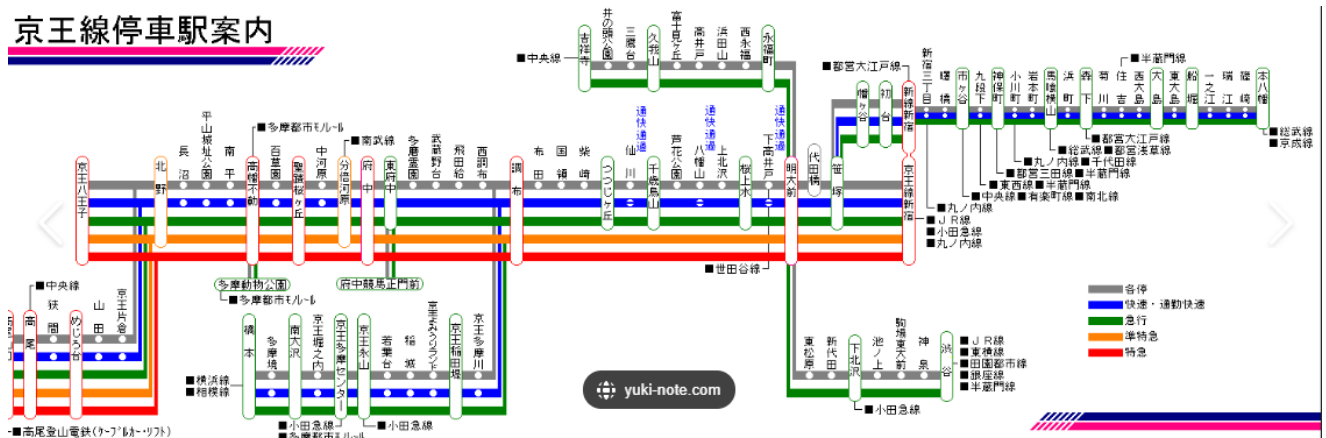
第2章 京王高尾線（北野～高尾山口：8.6km）・・・・・・41

第3章 京王相模原線（調布～橋本：22.6km）・・・・・・49

第4章 京王井の頭線（渋谷～吉祥寺：12.7km）・・・・・・54

総営業キロ 84.7 km

京王電鉄路線図



はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 40 弾目として、山手線・横浜線・南武線・中央本線などに接続する、東京都を走る、京王電鉄の旅（総営業キロ 84.7 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある檜原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 55 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

（2001 年 12 月～2023 年 1 月で踏破）

※第 1 章～第 4 章の京王電鉄の駅舎掲載不備は、本文中にあるリベンジに基づき適宜修正しました。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次の PDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 43 編（日本横断歩き鉄の旅）

京王電鉄



2023 年 1 月 10 日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 京王線(含む京王動物園線・京王競馬場線・京王新線)

第1節 京王八王子～調布

2023年1月4日(水)晴れ、本年最初のウォーキングは、総営業キロ84.7kmある京王電鉄の京王線(京王八王子～調布:営業キロ22.4km)に再挑戦する。京王線(京王八王子～新宿:37.9km)は、第7回わいわい会(高松一高同窓の歩き会:20020601(土):府中～新宿)と第11回わいわい会(20030920(土):京王八王子～府中)で歩いた路線であるが、”日本横断歩き鉄の旅”PDF読本の第43編(京王電鉄)の執筆に当たり不備があるため、本日の再挑戦となった。京王電鉄(除く井の頭線)の特筆すべき事項は、レール幅が代表的な新幹線タイプ(143.5cm)やJR在来線タイプ(106.7cm)とも異なり、その間の137.2cmとユニークな路線である。

レール幅	鉄道名例示
143.5Cm	新幹線、京急、京成、丸ノ内線、銀座線、阪神、京阪
137.2	京王(除く井の頭線)、東急世田谷線
106.7	JR在来線、小田急、東急、東武、西武、相鉄、千代田線、半蔵門線
76.2	三岐鉄道

久しぶりに20kmを超える歩きとなり達成感に浸ったが、多少疲れた一日となった。本日の歩きで通算の営業キロは、**1万4千95km(活動日数693日、日本鉄道の50.9%、地球円周の35.2%)**となる。

各駅舎の到着時刻は次の通り。

京王八王子(9:30)～北野(10:13)～長沼(10:34)～平山城址公園(11:05)～南平(11:36)～高幡不動(12:21)～百草園(12:59)～聖蹟桜ヶ丘(13:27)～中河原(14:03)～分倍河原(14:40)～府中(15:06)～東府中(15:33)～多磨霊園(15:51)～武蔵野台(16:11)～飛田給(16:31)～西調布(16:51)～調布(17:16)



※新宿駅



※京王八王子駅

①南林間7時32分発の小田急線で新宿まで移動。そして、京王線の新宿7時36分発で京王八王子まで移動。京王八王子駅前の風景を撮影後北野駅を目指す。途中、八高線・中央線・横浜線が交わっていたので、JR線の方に行かないよう細心の注意を払う。9時43分、八高線・中央線下を潜る。9時46分、北野9号踏切を横切り、京王線の左側となる。9時52分、横浜線が京王線に並走していた。道路を跨ぐ階段を通過。50m位先に横浜線の電車を確認する。間もなく歩くと、京王高尾線の高架した線路が見えて来る。10時3分、京王線・高尾線を潜り、鉄道の右側となる。暫く歩いた先で陸橋（道路）を経由し鉄道の左側となる。高尾線が合流する北野駅には10時13分到着。



※北野駅への路



※横浜線と並走、北野駅近し



※北野駅

②10時16分、58歩ある新大畑橋を渡る。高架した鉄道下を歩いた先に長沼駅（10時34分）にあった。10時45分、行き止まりとなる。10時47分、浅川土手を歩く。暫く歩いた先で土手を降り、京王線下を潜り、鉄道の右側となり、北野街道に合流する。この街道を暫く歩いた先に平山城址公園駅（11時5分）があった。



※新大畑橋、長沼駅への路



※長沼駅



※浅川土手歩き、平山城址公園駅への路



※平山城址公園駅

③11時11分、栄光保育園前を通過。鉄道の右側に沿って歩く。日野市交流センター前でT路地にぶつかる。11時27分、南平踏切を横切り、鉄道の左側となる。11時36分、南平1号踏切に面して南平駅があった。この踏切を横切り鉄道の右側となる。11時53分、ブロックの壁面に消えかかった絵画がある南平小学校前を11時53分通過する。12時、八坂神社前で本日の安全を祈願する。路地を暫く歩き、12時7分、北野街道に合流する。広々としたスペースを持つ高幡不動駅には12時21分到着する。駅前には沢山の人の姿があった。この駅は京王動物園線と多摩都市モノレールが合流していた。大きく曲がる動物園線に沿って歩きそうになるが、多摩都市モノレールや程久保川（12時38分）を見て、多摩都市モノレールつたい歩きをした第14回わいわい会を思い出し方向を修正する。



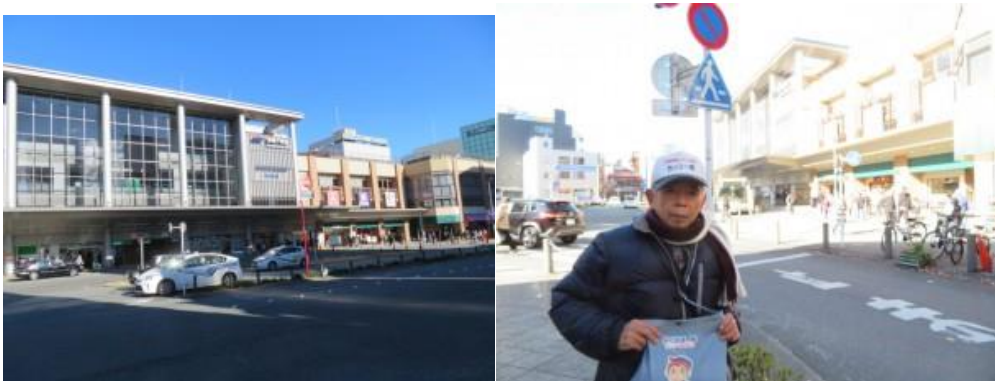
※南平駅への路



※南平駅



※八坂神社、高幡不動駅への路、高幡不動通り



※高幡不動駅

④12時38分、動物園線下を潜り、川崎街道を歩く。12時56分、松連寺坂公園前を通り、百草駅（もぐさ）には12時59分到着。この駅も南平駅と同様踏切に面してあった。13時14分、日野市から多摩市となる。13時27分、ウォーキングを開始した

2000年5月3日（水）に立ち寄った聖蹟桜ヶ丘駅には13時27分到着する。22年半余が昨日のように思い出し懐かしくなった。



※百草駅への路



※百草駅



※聖蹟桜ヶ丘駅

⑤13時41分、関戸交差点で川崎街道から左折し鎌倉街道に方向転換する。13時42分より万歩計で677歩ある関戸橋（多摩川）を渡る。鎌倉街道に面した中河原駅には14時3分到着する。14時10分、住吉銀座通りを歩く。くねくねした路地歩きを満喫し、12時17分、府中市分梅第2公園前を通過。地元の人々の応援を受け、やっと南武線が合流する分倍河原駅に17時40分到着する。陸橋を15m位上った先にあった。分倍河原駅からの風景は、階段下の風景とは相当の段差があった。飲み屋街が広がっていた。南武線に行かないよう細心の注意を払う。14時46分、踏切に立ち止まり、南武線か京王線かを車両にて確認する。運よく、前方を通過する車両は京王電鉄の車両でありホットする。そのまま鉄道の右側を歩く。



※多摩川を渡る



※中河原駅



※分倍河原駅への路



※分倍河原駅



※分倍河原駅界限

⑥14時52分、京王線下を潜り、鉄道の左側となる。府中駅には15時6分到着する。2021年10月23日（土）、武蔵野線リベンジでこの界限を歩いた懐かしい思い出が蘇る。15時14分、日本橋まで30kmと記した標識前を通過。15時18分、調布6km、新宿21kmと記した道路標識前を通過。15時18分、京王競馬場線が合流する東府中駅には15時33分到着。そして、行き過ぎないように用心して歩いた先に多磨霊園駅（15時51分）があった。16時に近いこともあり、ぼちぼち日没が心配となる時間帯となった。



※府中駅への路



※府中駅



※東府中駅への路



※東府中駅

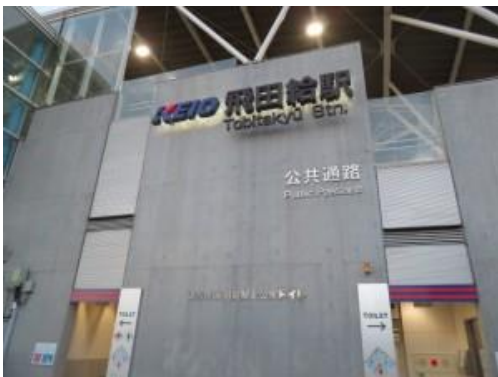


※多磨霊園駅への路、多磨霊園駅

⑦16時1分、府中第四小学校前を通過。16時4分、西武多摩川線の踏切を横切ろうとしたところ、先日乗り鉄した是政行きがやってくる。真っ直ぐ歩いた先を左折し、50m位鉄道に沿って歩いた先に武蔵野台駅（16時11分）があった。しかし、この駅で鉄道下を潜り右側に出るが、再度駅舎に繋がる道がなく引き返す場面に遭遇する。また、この駅の看板駅舎名は道路から確認できず、30m行った先の踏切からやっと確認できる。ここから淡々と歩いた先に飛田給駅（16時35分）があった。駅前にはイルミネーションの仕掛けがあった。



※西武多摩川線踏切、武蔵台駅



※飛田給駅

⑧駅前に”近藤勇の生誕の地（上石原）”と記した看板がある西調布駅には16時31分到着。そして暗くなった道筋を鉄道に沿って歩いた先に調布駅（17時16分）があった。辺りは暗く、しかも駅舎は地下にあったので少し行き過ぎる。地元の人の応援

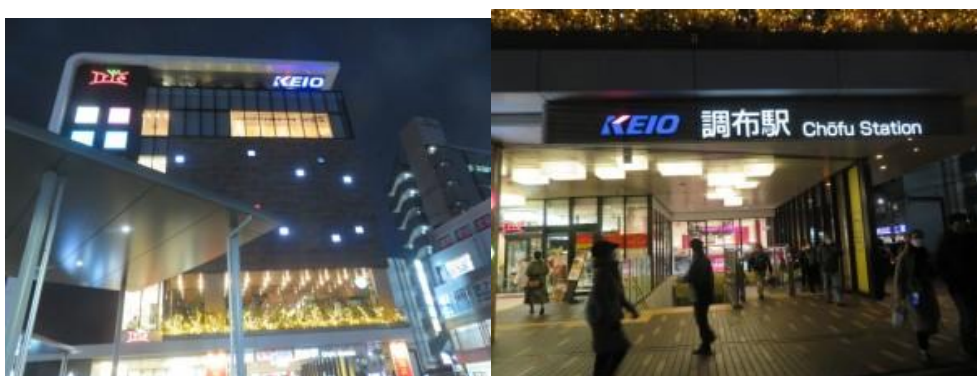
でやっと到着できる。駅に面して広場があった。京王相模原線（稲田堤下車）と南武線（登戸下車）を活用し、登戸駅からは小田急線に乗り継いで自宅へ。



※飛田給駅、西調布駅前



※西調布駅



※調布駅

第2節 調布～新宿他(含む京王動物園線・京王競馬場線)

2023年1月7日(土)快晴、京王電鉄の整理の第2弾は、“歩き鉄”と“乗り鉄”のアングルから次の対応でリベンジすることとした。

路線	区間	本日の対応
京王高尾線	北野～高尾山口	2005年5月7日(土)踏破済みのため 本日は乗り鉄で対応
京王相模原線	橋本～調布	2005年4月9日(土)踏破済みのため 本日は乗り鉄で対応
京王動物園線	高幡不動～多摩動物公園	2004年7月17日(土)踏破済みのため 本日は乗り鉄で対応
京王競馬場線	東府中～府中競馬場正門(0.9km)	新規歩き
京王線	調布～新宿(15.5km)	2001年12月1日(土)踏破済かつ再挑戦歩き

本日の駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

橋本(8:00)～高尾山口(9:24)～多摩動物公園(9:12)～東府中(10:55)～府中競馬場正門前(11:03)～東府中(11:26)～調布(11:48)～布田(12:01)～国領(12:14)～柴崎(12:38)～つつじヶ丘(13:15)～仙川(13:23)～千歳烏山(14:05)～芦花公園(14:28)～八幡山(14:43)～上北沢(14:58)～桜上水(15:13)～下高井戸(15:29)～明大前(15:46)～代田橋(16:05)～笹塚(16:23)～幡ヶ谷(16:41)～初台(16:58)～新宿(17:31)

※都営新宿線の繋がる京王新線(笹塚～新宿)は京王線で対応。

本日のプランは、初の本格的な2面からのリベンジで負荷が多く、果たして本日のプランが一日で達成できるかどうか危惧したが、沿道でお会いした人のお陰やこれまでの歩きなどで培ってきた体験が起爆財となり、当初の計画が無事消化でき充実した一日となった。これで通算営業キロは、**1万4千112km(活動日数694日、日本の鉄道の50.9%、地球円周の35.2%)**となる。同時に井の頭線をリベンジすれば、“日本横断歩き鉄の旅”の第43編として予定している**京王電鉄のPDF読本**が執筆できる環境となり嬉しい限り。

< 乗り鉄 >

乗り鉄の関しては、途中下車や車窓から駅舎画像撮影。



※高尾山口駅



※多摩動物公園駅

<歩き鉄>

1. 京王競馬場線（府中競馬正門前～東府中）

府中競馬場正門前(11:03)～東府中(11:26)

東府中駅から府中競馬正門前駅まで移動。本日は競馬があるのか年配の競馬ファンの姿を車両内で数人見かける。府中競馬正門前駅には11時3分到着。駅前の風景を撮影後、東府中駅を目指す。11時12分、武蔵国府八幡宮前で本日の安全を祈願する。鉄道の右側に沿って概ね歩く。11時21分、競・東府中2号踏切を横切り鉄道の左側となる。その先で京王線の踏切があるが渡らず右折する。11時23分、再度、競馬場線を横切り鉄道の右側となる。その先に東府中駅（11時26分）があった。11時32分の各駅停車で京王線の調布駅まで移動する。





※府中競馬正門前駅



※武蔵国府八幡宮、東府中駅への路



※東府中駅

2. 京王線（調布～新宿）

調布(11:48)～布田(12:01)～国領(12:14)～柴崎(12:38)～つつじヶ丘(13:15)～仙川(13:23)～千歳烏山(14:05)～芦花公園(14:28)～八幡山(14:43)～上北沢(14:58)～桜上水(15:13)～下高井戸(15:29)～明大前(15:46)～代田橋(16:05)～笹塚(16:23)～幡ヶ谷(16:41)～初台(16:58)～新宿(17:31)

①調布駅には11時48分到着。1月4日（水）は日没で駅前の風景はよくわからなかったが、本日は一変しその風景を確認できる。20年前の風景とは全く異なり、近代的な風貌に驚きと感動を覚える。この駅手前から国領駅にかけて線路は地下にあった。元地上の鉄道跡は遊歩道や自転車置き場などに活用されていた。小田急線の下北沢界限を思い出した。遊歩道を淡々と歩いた先に布田駅（11時48分）と国領駅（12時14分）があった。



※調布駅



※布田駅への路



※布田駅



※国領駅への路、国領駅



※国領駅

②12時18分、調布市立国領図書館があった。そこから少し行った先で地下から鉄道が登場する。12時23分、57歩ある馬橋（野川）を渡る。幹線道路（甲州街道）から少し入った先に柴崎駅（12時38分）があった。12時48分、幹線道路に合流する。そして、暫く歩き鉄道に近づいた先につつじヶ丘駅（13時1分）があった。



※柴崎駅への路、馬橋



※柴崎駅



※つつじヶ丘駅への路



※つつじヶ丘駅

③13時15分m¥、つつじがある通りを歩き、仙川駅を目指す。13時21分、仙川橋を渡り鉄道の右側となる。その先に10年位前孫と一緒に玩具を買いに来て記憶がある仙川駅には13時23分到着する。この駅で熱くなったので上着を脱ぐ。後編に続く！！



※仙川駅への路



※仙川駅

④13時32分、給田一三橋を渡り、鉄道の左側となり、幹線道路に合流する。その先で25歩ある大川橋（仙川）を渡る。ここで北海道出身（学園都市界限）の自転車野郎と数分話す機会を得る。チラシを渡し、カッシー館をPRさせて頂く。「お気をつけて歩いてください」で別れる。13時51分、給田町交差点を通過。幹線道路から少し入った先に千歳烏山駅（14時5分）があった。14時36分、環八下潜る。14時52分、芦花公園3号踏切を横切り、鉄道の右側となる。ここから700m位先に、芦花公園駅が線路沿いに見えてくるが、鉄道に沿った道筋がなく大回りを余儀なくなれる。14時18分、烏山神社前を通過。くねくねした道筋を歩き、芦花公園駅にはやっと14時18分到着する。烏山神社界限で大事なボールペンをロストする。ロスト事件は久しぶりである。しかし、予備のボールペンを持参していたため、大事に至らず。



※千歳烏山駅



※烏山公園駅界限、烏山神社、芦花公園駅への路



※芦花公園駅

⑤銀杏並木を通り、八幡駅には14時43分到着。この界限は長男家族が在住しているので、スムーズに歩くことができた。高架下にある商店街を經由し、鉄道の右側に沿った上北沢公園通りを淡々と歩く。暫く歩くと上北沢駅（14時58分）と車両車庫が

ある桜上水駅（15時13分）があった。そして、鉄道の右側を淡々と歩いた先に東急世田谷線が合流する下高井戸駅（15時29分）があった。



※八幡山駅への路



※八幡山駅



※上北沢駅への路



※上北沢駅



※桜上水駅への路



※桜上水駅



※下高井戸駅への路、下高井戸駅

⑥15時32分、東急世田谷線を横切る。15時46分、京王線下を潜った先に明大前駅があった。井の頭線を横切る。明大前の商店街を歩く。15時58分、甲州街道に合流。暫く歩き、鉄道に近づいた先に代田駅（16時5分）があった。16時7分、路地歩きをしたため袋小路にぶつかる、再度、甲州街道に戻る。16時13分、環七の交差点を通過。笹塚駅には16時23分到着。



※下高井戸駅、明大前駅への路





※明大前駅



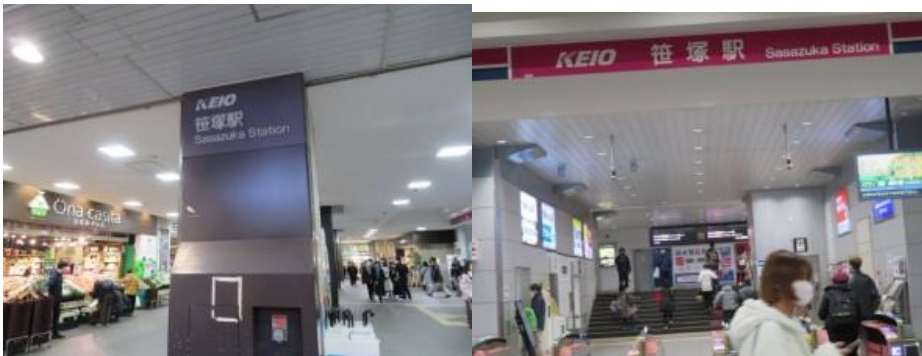
※明大前駅界限



※代田駅



※笹塚駅への路



※笹塚駅

⑦笹塚駅から新宿駅にかけて、営業キロ 3.6 km にわたり、京王線（地上）と京王新線（地下）が並走していた。ここからは京王新線の歩きとなる。辺りは暗くなりかけていた。16時26分、京王クラウン街を通り、幡ヶ谷駅を目指す。16時30分、甲州街道に合流する。16時41分、幡ヶ谷駅に到着する。16時50分、甲州街道に沿った初台緑道を歩く。暗くなりかけていたが、散歩・ジョギングや子供と楽しむ場面にも遭遇。初台駅には16時58分到着。そして、夜景を楽しみながら、新宿駅には17時51分到着。本日の目標が達成しホットする。祝杯は自宅で。



※幡ヶ谷駅への路



※幡ヶ谷駅、甲州街道



※初台緑道、初台駅



※新宿駅への路、新宿駅



※新宿駅

第3節 府中～新宿（第7回わいわい会に対応）

第7回目のわいわい会は、平成14年6月1日（土）、府中から新宿までの21.9km行程の京王線つたい歩きである。うす曇りの中、11名の有志の参加があった。

出発は9時10分頃からとなる。柴崎までは京王線の北側を歩く。多摩霊園と武蔵野台の間で西武多摩川線が交差し方向性を誤りそうになるが、多数の眼力にてうまく対処する。この近郊は、地名が示す通り墓地在りやたらに目についた。飛田給駅は近代的な顔をしていた。目標の調布には11時丁度に到着する。メンバーの多数から「到着が時間通り」とお褒めを頂く。柴崎の近郊で12時近くになったので、「ガスト」で昼食に1時間を費やす。

午後は12時50分のスタートとなった。午後は午前中とは逆に鉄道の南側を歩くことにした。福田幹事長が実篤通りを発見。流石幹事長である。眼力の凄さには感服。その通りを直進して、実篤公園にある武者小路実篤記念館に向かうこととする。目的地には13時半頃到着。思いがけなく素晴らしい公園に出会うことができた。これもウォーキングの醍醐味なのかも知れない。記念館には沢山の文学作品や美術作品が展示されていた。記念館から少し行くと立派な庭園があり、カラフルな菖蒲が私達を歓迎してくれた。

記念写真を撮る。庭園から少し行ったところに実篤先生が活動していた当時の書斎があった。キャンバスや絵の具が机の上に置かれていた。書斎は高台にありここから見た竹林は素晴らし眺めであった。水道設備のある3畳程の茶室もあった。



武者小路実篤記念館

この記念館を出たところで私を入れた3人のメンバーが8人とのメンバーと逸れる。でも、携帯電話のお陰で難を逃れる。神代高校の近郊で合流することができた。次は徳富蘆花のゆかりの芦花公園を目指す。祖師谷公園を通り芦花公園には15時頃到着する。ケシの花が咲き乱れていた。去年の今頃、八高線を歩いている時にも花園町でこれと同じ花を見たような気がする。今日は、福田幹事長や鶴巻さん、それから伴さんに沢山の植物の名称を教えてもらった。中でも印象に残っているのは、白い花を咲かせている泰山木や樹齢700年位のケヤキである。芦花公園内でのウォーキングはマットというかスポンジの上を歩いている感じでとても足に優しくかった。わいわい会の発生地である下高井戸駅に16時頃着き、駅前のマクドナルドで20分位コーヒタイムをとる。それから玉川浄水の遊歩道を通り新宿を目指す。新宿駅には18時10分頃到着する。



新宿のムーン

希望者9名で反省会としてライオンで21時半過ぎまで歓談する。2次会はカラオケもあり、自宅についたのは、24時半位であった。本来の距離から判断して、4万数千歩を記録するはずのところ、万歩計が故障したのか33,012歩のカウントしかならなかった。今日は、終始11名の参加があり、また、文学散歩もでき有意義な一日となった。

第4節 京王動物園線（高幡不動～多摩動物公園）

～第14回わいわい会（多摩モノレールで対応）～

第14回目のわいわい会（高校同窓歩こう会）は、2004年7月17日（金）真夏の日差しの中、上北台駅（かみきた）＝多摩センター駅間16.0Kmに挑戦する。朝5時前に起床し、愛犬セブンの散歩をさせる。9時30分、上北台駅集合のため、7時過ぎ自宅を出る。多摩センター駅で記念写真の撮影後、400円の乗車券を購入し多摩モノレール線に乗り込む。今まで意識していなかったが、この電車はレールをはさみこんで進むタイプ（リニアモーターカー）であり、つり電車のタイプではなかった。拝島線踏破の際、この鉄道を利用したので二回目となった。それで、多少余裕をもって、電車の窓から見る風景を観察することができた。実は中央線踏破の際、日野と立川の間でこのモノレール線と初めて対面していた。面白そうな電車で興味津々で傍観した記憶が昨日のように思い出される。高幡不動駅と新選組イベント会場のある万願寺駅の間に浅川があった。また、甲州街道駅と柴崎体育館駅の間にも多摩川があった。今回の障害は二つ感じた。ひとつは両川をどう渡るかと、もうひとつは中央大学明星大学の森をどう越えるかであった。これが、後で歩いて意外に簡単にクリアできた。取り越し苦労というものであった。

上北台駅には、9時頃到着する。駅前には多数の墓地があった。予想通り誰も来ていなかった。わいわい会の主幹事である関係上、不測の事態を想定し、待ち合わせ時間の30分前を目途に到着を心がけている。昨日、溝縁さんと片岡さんから欠席の電話があった。それから1週間位前、谷本さんからも丁重なる欠席のはがきをもらう。真夏のウォーキングで人数の少ないことは覚悟していた。9時10分頃、岡崎さんから、現在立川北駅にいるとの連絡があり。それから、まもなくして、桑島さん、鶴巻さんが現れる。本日来られる可能のある福家さんに連絡するが、家事都合により欠席との回答を得る。9時30分を少し過ぎたあたりに岡崎さん、坂本さんがお見えになる。後参加者がいるかもしれないので、ひと電車だけ待つことにする。結局、何方も来ず。



※多摩センター駅、上北台駅



※桜街道駅、玉川上水駅

我々5人は、上北台駅を9時50分出発し、本日の終着駅の多摩センター駅を目指す。本日のつたい歩きは、モノレール線のため、線路と踏破駅が常に頭上にあり歩きやすかった。また、視界を遮る障害物が少なく目標とする駅は見やすかった。桜街道には10時5分到着。拝島線踏破の際通過した玉川上水駅には、10時20分に到着。西武鉄道を越えるのにエスカレーターで20m位上り下りする。砂川七番駅、泉体育館駅と道路の真中を走るモノレール線に沿って歩く。泉体育館駅を過ぎた辺りから、目指す立飛駅は私達が歩いていた道路を急カーブで右折する方向にあった。桑島さんと鶴巻さんがこのカーブを気にしないで進んでいたため、坂本さんが大声を上げて「行き過ぎ」と注意喚起する。それで、20m戻り、モノレール線の方に進路を変更する。でも、この戻りは無駄な動きとなる。私道のため侵入できず。行過ぎた方向に進み立飛駅を目指す。右手200m位先に立飛駅(10時55分)があった。その後前進したが、テニス場、ゴルフ場、住宅展示場で行き止まりとなる。それで、再度引き換えし、一番原点の道路まで戻る。この辺りは新立川航空機会社の敷地の関係から、つたい歩きはできない状況であった。それで、高松駅と立川北駅への踏破は、モノレール線とかなり離れて進むことになる。このため、高松駅と立川北駅はカメラに収めることができない。

歩きながら、岡崎さんと日本の社会問題のうち少子高齢化と教育問題について語り合った。次のような論点で岡崎さんと大筋一致した。坂本さんもこの論点に賛同して頂いた。

- ① 国会で保険料未納問題等の枝葉末節の議論をするのではなく、激減が予想される人口問題と低下しつつある教育水準を真剣に議論すべき。
- ② 少子化への対応を解決すれば年金問題の糸口がつかめる。
- ③ 国全体が子供を育てる環境態勢となる必要がある。
- ④ ゆとり教育では日本全体が地盤沈下する。
- ⑤ 世界に通用する教育が大切である。



※砂川七番駅、泉体育館駅



※多摩モノレール、鴨と鯉

大丸デパートでトイレ休憩をする。JR立川駅前では10人乗り位の小型バスから乗客が降りている場面に出くわす。JR線を潜り抜ける地下通路を通り、JR立川駅の南口に出る。この駅からモノレール線を左手に200m位離れた道を進む。その関係で立川南駅もカメラに収めることができず。私が朝見た多摩川越えの状況をメンバーに発言したため、全員がこれから向える川越対策に注意深くなる。柴崎体育館近郊に小川があり、鯉と鴨が涼しそうに泳いでいた。鴨はこちらを見て、餌を期待している感じであった。まもなく行くと多摩川に出くわす。驚いたことに、道路の真中にモノレール線があった。朝モノレールの窓からはこの道路事情がわからなかった。「灯台下暗し」がぴったりあてはまる場面であった。「鉄道と比べ、モノレール線は道路に融合できる」という新しい発見をした。朝は橋が見えず、橋を渡るのにかなり遠回りを余儀なくした。しかし、それがなく助かった。万願寺駅の近郊で昼食時間(12時40分)になったので、食事処「ひょうたん」で休憩をする。生ビールがとても美味しかった。



※ひょうたん



※新選組イベント会場

14時、本年NHK大河ドラマの「新選組フェスタ In 日野」の会場に向かう。四方200m位の敷地を利用して、イベント会場が設立されていた。入場に500円要する。英雄土方歳三のビデオが放映されていた。「桑名藩と新選組」という説明会がイベント会場であった。10月まで日野市が運営しているとのこと。入口先に記念写真撮影会場があったので、羽織と刀を借りて係りの方に写真を撮ってもらう。岡崎さんは家事都合により、ここでアップする。14時半、イベント会場を出るや否やトケイソウという珍しい植物を、鶴巻さんと桑島さんから教わる。時計の針のような3m位丈の植物だった。

ブルーベリー、栗それからざくろ、桃、梨といった木が農園にあった。昨年9月わいわい会で踏破した高幡不動駅を15時5分通過する。五重の塔が300m先に見える。茶色っぽいレンガ造りの立派な日野市立高幡図書館があった。この近郊で5分程度休息し、今後の展開を読む。後、多摩センター駅まで5.5Kmである。17時位に到達できると予想。程久保川に沿った遊歩道があり、程久保駅、多摩動物公園と目指す。



※高幡不動駅、程久保駅

浅川合流点から2.5Kmのところ程久保駅があった。高幡不動駅から多摩動物公園までモノレール線に併走して京王線があった。程久保川に沿って、いくつかの鳥の写真があった。その中に、関東鉄道の田で見かけた黒と白の模様の鳥がいた。セグロセキレイとあった。多摩動物公園には15時45分到着。多摩動物園を見た時、十数年前家族でよく来た懐かしい記憶が昨日のように思い出された。当時このような便利な鉄道がなかったので、家内の運転

によるアクセスが余儀なくされた。その関係で渋滞に巻き込まれる大変な日もあった。1時間に1本程度ペットボトルを要する環境から、いつの間にかうす曇になり歩き易い環境となっていた。



※中央大学・明星大学駅、松が谷駅

いよいよ最後の難関である山越えである。幹線道路を回って中央大学明星大学を通り抜けるコースも考えた。しかし、何人かの通行人に近道情報を聞き、直接中央大学を通り抜けて進む裏道コースにした。中央大学は坂本さんの母校とのことで、感慨無量のようなであった。16時15分中央大学駅に到着する。大塚帝京大学には16時25分着く。大栗川を越えると、10分位行った先に松が谷駅があった。松が谷駅は大通りに面しており、その先に多摩センター駅があった。高層ビルが松が谷駅から前方に見えて来た。この駅から多摩センター駅までは花道であった。多摩センター駅には16時50分到着。トイレで汗だくだくのシャツの着替えをして、17時6分発の電車（京王）で打ち上げ会場新宿駅を目指す。新宿まで330円だった。新百合ヶ丘駅＝小田急多摩センター駅の230円に比べ割安感を感じた。

新宿ライオンには18時到着。生ビールが最高に美味しかった。宇賀神さんが18時40分頃駆けつけてくれる。これで、本日のわいわい会参加メンバーは延べ6名となった。その後、ムーンに移動してカラオケを楽しむ。22時30分この店を出る。自宅には深夜の0時10分であった。愛犬セブンが迎えに来てくれる。本日の万歩計は49,578歩だった。充実した一日となった。今回も坂本先輩から丁重なる熱きウォーキングのお礼状を頂戴した。